

平川市経営戦略

基本構想（案）

目 次

第1章 はじめに.....	1
1 計画策定の趣旨・考え方.....	1
2 市民が想う平川市.....	2
第2章 基本構想.....	3
1 経営戦略とは.....	3
2 将来像.....	4
3 基本姿勢.....	5
4 目標人口.....	6
5 基本目標.....	7
6 基本構想の体系.....	9

第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨・考え方

平川市では、平成29年度から令和8年度までを計画期間とする第2次平川市長期総合プランに基づき、将来像「あふれる笑顔 ぐらし輝く 平川市」の実現に向けて各種施策を推進してきました。

その結果として、住みやすいまち、子育てしやすいまちとしてのイメージが定着しつつあるなど、一定の成果を上げてきました。

一方で、人口減少や少子高齢化の進行、地域コミュニティの担い手不足、自然災害リスクの高まりなど、次の時代に向けて取り組むべき課題も明確になっています。

こうした状況を踏まえ、これまでの成果を確かな基盤としながら、新しい時代を切り開き、持続可能な地域づくりを進めていくことが必要です。本市の地域特性や資源、強みを最大限に活かし、市民が安心して暮らし続け、次世代が希望を持てるまちの実現を目指して、令和9年度から10年間を展望する第3次平川市長期総合プランとして、今回、「平川市経営戦略」を策定します。

本プランは、将来に向けた明確な方向性と発展的なビジョンを示し、平川市のさらなる発展に向けた新たなまちづくりの指針を提示するものです。

基本的な考え方

(1) 平川市の未来を切り拓くプラン

人口減少が進む中、社会環境は常に変化しています。こうした時代の変化を的確に捉え、合併20年という節目にふさわしく、新しい時代を担うまちとしてさらなる一步を踏み出し、平川市の未来を切り拓く姿勢を明確にしていきます。

(2) 重点的に取り組む施策の明確化

人口減少対策、基幹産業である農林業の担い手確保、切れ目のない子育て支援、自治体DXの推進など、持続可能なまちづくりに不可欠な重点課題を明確にします。限られた財源を効果的に活用しながら、まちの未来にとって必要な取組を優先的に進めていきます。

(3) 実行性のあるプランの策定

計画の実効性を高めるため、統計データや市民意識調査、他自治体との比較など、客観的な情報に基づく現状分析を行います。また、EBPM、すなわちエビデンスに基づく政策立案を推進し、政策効果を検証しながら着実に取組を進めることで、市民からの信頼性向上を図ります。

第1章 はじめに

2 市民が想う平川市

今回の計画の策定にあたり、市民意識調査やワークショップを通じて、多くの市民の方から意見をいただきました。

その結果から見えてきた、平川市の「強み」や「弱み」、そして「将来どのようなまちになってほしいか」といった想いをまとめました。

(1) 平川市の強み

- ・給食もおいしいし、自然がいっぱいあるところが好きです。
- ・ねぷたの盛り上がりを見ると、平川っていいまちだなと思います。
- ・子育て支援が充実していて、安心して暮らせるところがいいですね。
- ・農産物がおいしくて、温泉も多いのが平川の強みですね。
- ・人とのつながりが残っていて、落ち着いて暮らせるところがあります。

(2) 平川市の弱み

- ・もっと友達と遊べる場所があったらうれしいです。
- ・働きたいと思える仕事が増えてほしいです。
- ・家族で楽しめる施設が増えるといいですね。
- ・人口減少や空き家が増えているのが気になります。
- ・買い物や通院の足がこれから心配になってきます。

(3) 平川市の将来、こんなまちになってほしい

- ・子どもたちがたくさんいて元気なまちになってほしいです。
- ・若者のアイデアや挑戦が応援されるまちになってほしいです。
- ・家族みんなが安心して住み続けられるまちになってほしいです。
- ・農業や観光を活かして、人が集まるまちになってほしいです。
- ・最後まで安心して暮らせる平川市であってほしいです。

市民の方が感じる平川市の強みを伸ばし、弱みや課題の克服に取り組むとともに、将来に残したい魅力や地域資源を大切に育み、次世代に引き継いでいけるよう、計画に反映していきます。

第2章 基本構想

1 経営戦略とは

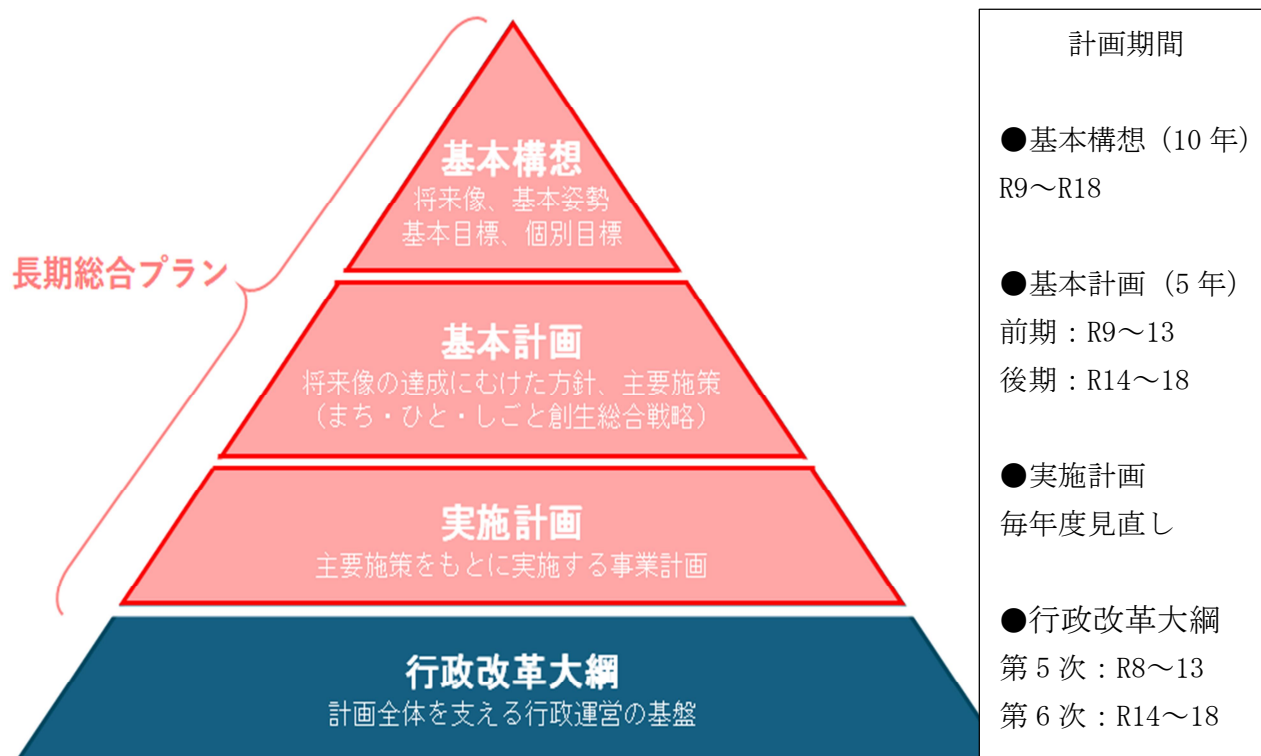
「平川市長期総合プラン（基本構想・基本計画・実施計画）」と「平川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「平川市行政改革大綱」を一体化した、市として最も重要な市政の根幹となるものです。

これまで別々に策定しつつも関連性が高い3つの計画を一体的に統合することで、市として目指す方向を一本化し、限られた財源や人員をより効果的に活かし、市民の皆さんにとって分かりやすい市政運営を実現していきます。

また、人口動向や地域の課題、市民の声などを踏まえながら、今ある平川市の良さやサービス水準をしっかりと守るとともに、新たな価値や魅力の創造にも挑戦していくことを目指します。

変化の大きい時代に、市民の暮らしを守り、未来を切り拓くための市の新しい運営の形が、この「平川市経営戦略」です。

平川市経営戦略の体系イメージ



輝く未来 みんなで創る 平川市

(1) 輝く未来には

- ・子育てしやすい環境や豊かな自然、地域文化、農産物などの平川市の強みを活かしながら、こどもから高齢者まで、すべての世代が希望をもって自分らしく暮らし続けられるまちを目指す想いを込めています。
- ・人口減少や少子高齢化といった課題にも向き合い、市民の声を大切にしながら、次の世代へ誇りをもって引き継げる、持続可能で活力ある未来を描いていきます。

(2) みんなで創るには

- ・市民、地域、事業者、団体、行政、そして市外から関わる人々が、それぞれの知恵や力を持ち寄り、ともに平川市の未来を創っていくという想いを込めています。
- ・市民一人ひとりが地域に関心を持ち、若者を含む多様な人々が主体的に関わることで、住み続けたい、にぎわいのある、活力あるまちを目指します。

第2章 基本構想

3 基本姿勢

将来像の実現に向け、3つの基本姿勢を基にまちづくりを進めていきます。

(1) これまでの「あゆみ」を大切にします

平川市が育んできた自然、暮らし、文化や産業を大切にし、地域の魅力と強みを未来へつなぎます。

(2) いまの「暮らし」を守ります

いま暮らしている人が安全・安心に生活できるよう、一人ひとりの暮らしに寄り添います。

(3) これからの「みらい」を育みます

こどもや若者をはじめ、市民一人ひとりが希望を持ち、地域とともに成長できるまちを育みます。

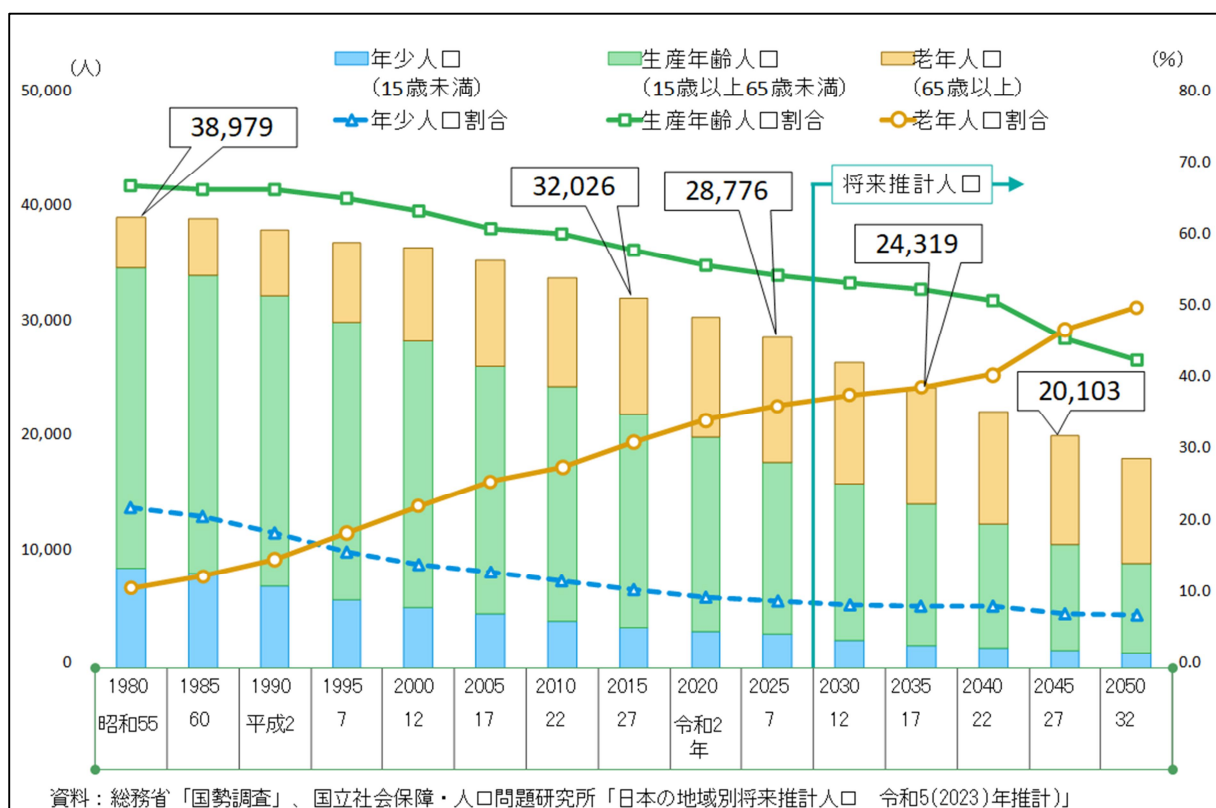
第2章 基本構想

4 目標人口

平川市の令和7年時点の人口は28,776人です。

推計によると2050年の平川市の人口は18,103人であり、2万人を割り込むとみられています。

2045年には老年人口が生産年齢人口を初めて上回り、2050年には高齢者（65歳以上）が市の人口の半分以上を占めると推計されています。



2036年の人口 25,000人を目指します

- ・ 国立社会保障・人口問題研究所が公表する将来推計人口を基に、人口減少の進行を可能な限り緩和し、2036年における目標人口の達成を目指します。
- ・ 若者や子育て世代が暮らし続けたいと思える仕事、住まい、子育て環境を整え、転出超過の縮小と移住定住の促進を図ります。

第2章 基本構想

5 基本目標

～ 一人ひとりの人生に寄り添ったまちづくり ～

これからの平川市をより良いものにしていくためには、こどもから高齢者まで、誰もが自分らしく生き、地域と関わりながら暮らしていくことが大切です。

妊娠、出産から働き盛りの世代、高齢期まで、一人ひとりの人生に寄り添い、安心して暮らし続けられるよう、切れ目のない政策を推進します。

また、市民だけでなく、市外から関わる人々も含め、多様な主体がともに平川市の未来を支える担い手として活躍できるまちづくりを進めていきます。

(1) 安心してこどもを生み、育てられるまち

- ・妊娠、出産から乳幼児期まで、医療、相談、産前産後支援を切れ目なく充実させ、母子の健康と家庭の安心を支えます。
- ・子育てへの不安を軽減し、安心してこどもを生み育てられるまちを目指します。

(2) こどもや若者が夢を持ち、成長できるまち

- ・こどもや若者が将来に希望を持ち、自らの力を伸ばしていける学びと成長の環境を整えます。
- ・主体性や創造性を育む多様な学びを充実させるとともに、地域と関わる機会を広げながら、次代を担う人材の育成と定着を目指します。

(3) 働く世代が活躍できるまち

- ・農林業や商工業などの地域産業の振興と雇用創出を進め、暮らしの安定を支えます。
- ・働きやすい環境の整備により、多様な人々が住み続けたい地域を目指します。

(4) 高齢者が安心して暮らせるまち

- ・医療、介護、生活支援を充実させ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えます。
- ・介護予防や地域の支え合いを進め、孤立を防ぎながら自立した生活を支援し、高齢者も安心して暮らせるまちを目指します。

第2章 基本構想

5 基本目標

(5) 誰もが心地よく暮らせるまち

- ・ 防災や防犯体制の充実により、誰もが安心して暮らせる環境を整えます。
- ・ 都市基盤の維持や行政運営の効率化を進め、持続可能で安定したまちを目指します。

(6) 新たな人がつながるまち

- ・ 移住、定住の促進などを進め、平川市を選びやすい環境を整えます。
- ・ 観光や地域活動を通じて、多様なつながりを育み、内外の人が関わり続けるまちを目指します。

第2章 基本構想

6 基本構想の体系

基本構想では、将来像である「輝く未来 みんなで創る 平川市」の実現に向け、3つの基本姿勢を踏まえながら、6つの基本目標に基づくまちづくりを進めていきます。

今後は、基本目標ごとに具体的な施策の方向性を定め、限られた財源や人員を効果的に活用しながら、実効性のある取組を展開していきます。

将来像	基本目標（政策）	個別目標（施策）
輝く未来 みんな で創る 平川市	1 安心して子どもを生み、育てられるまち	1 出会いを育み、結婚の希望をかなえる環境づくり
		2 妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制を
		3 健やかに子どもを育てられる環境に
	2 子どもや若者が夢を持ち、成長できるまち	1 未来を切り拓く子どもたちの育成を
		2 心を豊かにする生涯学習を
		3 スポーツ・芸術文化を通じ、学び交流しよう
	3 働く世代が活躍できるまち	1 稼ぐ力を高め、次世代に誇れる農林業を
		2 活気あふれる商工業の振興と働きやすい環境づくり
		3 地域資源を磨き、心おどる観光・物産に
	4 高齢者が安心して暮らせるまち	1 よろこびを感じる生きがい活動を
		2 地域が支え合う包括ケアシステムの充実を
		3 一人ひとりの安心を支える地域福祉を
	5 誰もが心地よく暮らせるまち	1 安全・安心に住み続けられる居住環境を
		2 暮らしを支える持続可能な都市基盤を
		3 命を守る、災害に強い防災体制
		4 交通安全・防犯体制の充実を
		5 未来につなげる脱炭素・循環型社会に
		6 健康寿命を延ばし、自分らしく輝き続ける健康づくり
		7 互いに認め支え合う共生社会を
	6 新たな人がつながるまち	1 選ばれ、住み続けたい移住・定住対策を
		2 互いに支え合い、つながりを育むコミュニティ活動を
		3 平川らしさを伝えるシティプロモーション
		4 市民協働によるまちづくり